

平成28年度

共学部 特別選抜・特別進学コース共通

第1回 入学試験問題 (2月1日 午前)

国語 (50分)

注意

- 1 この問題用紙は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 問題用紙および解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 4 字数制限のある場合は、特別な指示がない限り、すべて句読点や「」「」などの記号を含んだ字数として解答すること。
- 5 印刷がわからない場合は申し出ること。
- 6 試験終了の合図でやめること。

東京都市大学等々力中学校

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【一】 次の——線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して答えなさい。

- 1、自ら墓穴を掘って失敗する。
- 2、入念に準備運動をする。
- 3、画期的な発明をする。
- 4、時雨が通り過ぎる。
- 5、災い転じて福となす。
- 6、古代のシヨウケイ文字を解説する。
- 7、新たな理論をテイシヨウする。
- 8、高所でのキケンな作業。
- 9、指揮ケイトウが乱れる。
- 10、大地が夕日であかね色にソまる。

【二】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

主人公の「陽」(＝「私」)は両親の離婚後、父子二人の生活を過ごしてきた。そんな折、降ってわいたように舞い込んできた父の再婚話。高校生活のスタートを前にして、「陽」は三歳の妹「ひなた」の姉となり、「美子さん」が母親となった。

ビニールプールの水が太陽を反射してまぶしい。目を細めながら、今日、ギャラリーで見た母の姿を思い出していた。私に視線を向けなかったな。そう思うと、コーヒーが余計に苦く感じる。

「ちそうさま」そう言いながら、グラスを持って、家の中に入った。
ふ、とため息をつきながら、一階の洗面所で手を丁寧^{ていねい}に洗い、うがいをする。それから、二階の自分の部屋に上がった。ドアを開けた途端、あつ、と声が出た。本棚の一段目の本が床の上に散乱している。お小遣いを貯めて買った画集や写真集を入れてあった場所。本は開いたままで、ペ

ージは折れ、紙がちぎれているところもある。母の画集もあった。どうやって破ったのだろうと思うけれど、びりびりに破られているページが何箇所^かもあった。

階段を下りて、何もはかずに庭に出た。

「おねえたん！」と笑いかけた、ひなたちゃんの体を、

「ばか！」と言って押した。胸のあたり。手加減したつもりだったが、ひなたちゃんはプールの中にびちゃんと尻餅^{しりもち}をついて、うわ——ん、と泣き出した。

「おい、いきなり、どうしたんだ」

父が立ち上がり、近づいてきた。言いつけるように父に叫んだ。

「ひなたちゃんが、ひなたが、ひなたが、私の本をめちゃくちゃにしたあああ」

泣いている私もひなたちゃんと同じようなものだった。① ひなたちゃんを、ひなたと呼び捨てにしたのも、初めてだった。美子さんは、はっ、

とした顔をして立ち上がり、まるで野兎^{のうさぎ}のように家の中に駆け込んだ。1、階段を上がっていく音がする。やっぱり、こんなときでも美子

さんのたてる音は大きい。

父が抱き上げたのは、プールの中のひなたちゃんだった。② それも悲しくて、私は泣いた。さっきと同じような足音をたてて、階段を下り、美

子さんがものすごい顔をして、ひなたちゃんに近づいた。

「ひなた！ おねえちゃんの部屋に勝手に入ってはだめだと言ったでしょ！ 大事な本をあんなにしてい」言い終わらない瞬間に、父の腕のなかのひなたちゃんを奪うようにして抱き上げ、水着のおしりをびたーんとたたいた。ひなたちゃんをたたいた美子さんを見たのは、それが初めてだった。父も、美子さんの勢いに驚いたのか、口を2 開けて、二人を見ている。ひなたちゃんは、鼻水を出し、よだれも垂らして、泣いた。ちいさなかいじゅうが叫んでいる。それでも、容赦^{ようしゃ}せず、美子さんは、ひなたちゃんのおしりを何度もたたいた。それを見ていたら、なぜだか自分だけがわがままを言っているような気分になり、

「もう、いい。もう、いいよ」

そう言いながら、私は家に入り、階段を駆け上がり、自分の部屋のドアをばたーんと閉めた。ベッドに倒れ込み、腕だけを伸ばして、バッグの中から、ギャラリーでもらってきたサンカヨウのポストカードを取り出した。そうするつもりはなかったのだけれど、涙が自然にあふれて、私は声を殺して泣いていた。ずっと。

いつのまにか見ていた夢は、父と二人で暮らしていたときのことだった。父が古いレコードをかけて、私は、ダイニングのテーブルで宿題をしているうちにうとうとしてしまう。自分の頭を撫^なでる、あたたかくて大きな手。そんな記憶もいつか上書きされて、時間がたったら忘れてしまう

のかな。でも、ほんとうにあたたかい手だ、と思っっているうちに

3

目がさめた。

父がベッドのそばにしゃがんで、私を見下ろしていた。私が目をさましたことで、どこか安心したような顔をしている。父が床に落ちていた何かを拾った。サンカヨウのポストカード。裏の絵を見て、表の文字を読んだ。

「今日、行ったのか？」

うん、と声に出さずに頷いた。

A

うん。父は、お母さん、とは言わなかった。

B

ううん、と頭を振った。

「三歳から会ってないんだ。無理もないよ。陽は年齢より、ずっと、大人みたくに見えることもあるし……」

父は立ち上がり、窓を大きく開けて言った。

「大人みたいにならないといけなくなってしまったのかもぼくが」

(中略)

「陽が会いたいなら、そうすることもできるんだ。そうしたいかい？」

長い間、考えてみたが、よくわからなかった。

「陽が望むなら、それもできる。今すぐ答えを出さなくていいんだから。でも覚えておいて。佐千代さんに、娘として会うこともできるんだ陽は」
うん。と頷いた私の頭を父の大きな手が撫でた。

C

それが、父が、今、いちばん聞きたいことなんじゃないか、という気がした。

「……何も問題はないよ」

「ほんとうに？」

「うん」

「③陽をずいぶん早く大人にさせてしまったなあ……」

父が私の顔をのぞきこんだ。ひじだけでなく、近くで見る父の顔もずいぶん老けたような気がする。こんなに皺があつたかなあ。

「陽と、美子さんと、ひなたちゃんとぼくとで、暮らしていきたいんだ」

部屋を出て行く前に父はそう言った。

④それは、ふだんは言葉が少ない父の、力強い宣言のようにも聞こえた。

(中略)

久しぶりに四人で過ごす夜は、ゆっくり過ぎていった。私は、ソファでひなたちゃんとDVDを観ているうちに、いつの間にか眠ってしまったようだった。

私に寄りかかるように眠っている⑤ひなたちゃんの肌は、まるで両生類みたいに、汗で④している。ひなたちゃんの体を自分の体からそつと離し、ソファに横にした。うしろを振り返ると、美子さんがテーブルの上に本を積み重ねてなにかしている。仕事だろうか。書斎にいるのか、浴室にいるのか、父はそこにはいなかった。

「ひなたのそばで寝てると汗まみれになるでしょう、暑くて。子どもは体温が高いけどひなたは特に高いような気がするわ」

私が近づくと、美子さんが顔を上げて笑った。美子さんの横にあるのは、ひなたちゃんが私の部屋に入っていたずらをした本だった。セロハンテープを細かく切つて、破れたページを貼り合わせ、ひなたちゃんがちぎってしまった部分を、パズルのピースを合わせるように、つなげていた。

「ごめんね、ほんとうにひなたがばかだ。私も不器用だから、うまく直せるかどうか知らないんだけど……」

そう言いながら、貼り合わせた部分を指でなぞる。ネイルも何もしていない手。手の甲は筋張つていて、すべてではない。ずっと働いて、年齢を重ねてきた手。さつき、窓のそばで見た父のひじのように、生まれてから、長い時間がたった人の体の一部だった。そういう二人が出会い、暮らしていくことの、不思議を思う。

「この花、きれいねえ……」

美子さんが一枚の絵を指さした。⑥サンカヨウの花だ。元の白い花ではなく、朝露や雨を受けて、段々に透明になっていった花。

「……それね、母が、描いたの……」

「……そうなの、と顔を上げ、私の顔を見て、ちよつと驚いたような顔をしたあとに、そのページにまた視線を落とす。

「陽さんのお母さんは、素敵な絵を描く方なんだねえ」

美子さんの言葉に胸がきゅつとつまる。

⑦父が美子さんを好きになつたわけが、少しわかつたような気がした。

美子さんのことを全部知つたわけではないけれど、もっともつと、透明になりたいと、私は強く思った。美子さんのように。もっともつと透明で、強い女の人に。

「ありがと……」

そう言うのが、やつとだった。

問 一、——線①「ひなたちゃんを、ひなたと呼び捨てにしたのも、初めてだった」とありますが、ここから読み取れる「私」と「ひなたちゃん」の関係として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、ひなたちゃんは幼いので、普段から「私」は「ひなたちゃん」と呼んでいる。
イ、ひなたちゃんは利発なので、普段は「私」から呼び捨てにされるようなことはない。
ウ、ひなたちゃんと良い姉妹関係を築いていきたいので、丁寧な言葉遣いで接している。
エ、ひなたちゃんと暮らし始めて日が浅いので、まだ「私」は距離を持って接している。

問 二、

1

4

 にあてはまる言葉を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、ゆつくりと イ、しつとりと ウ、ぱかんと エ、ばたばたと

問 三、——線②「それも悲しくて」とありますが、なぜ「私」は「悲しく」なったのですか。その理由を二十字以上二十五字以内で考えて答えなさい。

問 四、

A

--

C

 にあてはまる会話として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、美子さんと、ひなたちゃんとの暮らしはどう？ イ、佐千代さんは、そこにいた？
ウ、陽のこと、気づいていた？ エ、お母さんのこと、忘れたい？

問 五、——線③「陽をずいぶん早く大人にさせてしまったなあ……」とありますが、このときの父の気持ちとして適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、知らず知らずのうちに、娘に大人の分別を身につけてしまっていたことを申し訳なく思う気持ち。
イ、知らず知らずのうちに、娘に大人びた感性が身についていたことに気づき、大いに驚く気持ち。
ウ、久しぶりに娘と向き合い、娘の心に様々な感情が芽生えていたことを再認識し、その重さを思いやる気持ち。
エ、久しぶりに娘と向き合い、娘の着実な心の成長をよるこび、これからの新しい家族の行く末に希望を持つ気持ち。

問 六、——線④「それは、ふだんは言葉が少ない父の、力強い宣言のようにも聞こえた」とありますが、「父」は「私」にどのようなことを伝えたいと思ったのですか。そのことを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を五字で考えて答えなさい。

多少の衝突やすれ違いはあったとしても、この家に居る一人ひとりが自分にとって

五字

 であり、一人も欠けることなく、共に歩んでいきたいということ。

問 七、——線⑤「ひなたちゃんの肌は、まるで両生類みたい」とありますが、文章中にはこの他にも「ひなたちゃん」の様子をたとえを用いて表現している箇所があります。それを文章中から一文で探し、最初の五字を抜き出して答えなさい。

問 八、——線⑥「サンカヨウの花々段々に透明になっていった花」とありますが、この花の姿が暗示しているのは、人のどのような様子ですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、周囲の批判や悪口にさらされても、けがれない純粋な気持ちを持ち続けている様子。
イ、人間関係のつまずきに心を痛めながらも、信念を持って自分らしい生き方を守りぬく様子。
ウ、様々な経験を積み重ねて、曇りのない落ち着いた心で物事を受け入れられるようになる様子。
エ、数々の苦しみや悲しみを乗り越えて、何事にも感情を動かさない静かな境地にたどり着いた様子。

問 九、——線⑦「父が美子さんを好きになったわけ」とありますが、「父が美子さんを好きになった」理由を「陽」はどのようにとらえていますか。そのことを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を文章中から十字以内で探し、抜き出して答えなさい。

美子さんは

十字以内

 だから。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちの会話をよく観察していると、そのやりとりは買い物とよく似ています。一人が何かを言う、すると相手がそれに見合った答えをするといったやりとりは、支払いをする、それに見合った品物を渡すといった感じと似ています。

先日電車の中であった出来事ですが、私のとりにも体格のよい、プロボクサーのようなたくましい黒人の男性が座っていました。ある駅で男子高校生が二人乗ってきて、その黒人を見て「オー、すげえ」といってその黒人のとなりの空席に座りました。その黒人は日本語が分かったらしく、親しげにその高校生に話しかけ始めました。高校生たちも嬉しかったらしく、笑顔で答えているのですが、その会話は次のように進んでいました。「きみたち高校生?」、「はい」、「どこの高校?」、「××高校」、「何年生?」、「三年」、「進学するの?」、「はい」、「じゃ、受験勉強大変でしょう」、「はい」、「どこまで行くの」、「××駅」、「何かスポーツする?」、「いいえ」といった具合です。その黒人はいかつい体格とは逆に、話し方がていねいで、うまい日本語で親しみを込めて話しかけていて、私は思わず耳を傾けていたのですが、同時にとても残念に思ったのを覚えています。その二人の高校生たちは、話しかけられてとても喜んで、A 津々で受け答えをしているのはよく分かったのですが、そこで会話は途切れてしまったのです。もう私の言おうとしていることは読者には分かったかと思いますが、この会話は、先ほどの買い物にたとえると、多くの物を買おうとする支払いに比して、売り手はそれに見合ったギリギリのものしか返していないのが特徴です。

「受験勉強大変でしょう」と言われたとき、「ええ」だけでなく、「ずいぶん日本のことくわしく知っていますね」とか、「日本に長く滞在しているんですか」とか聞いてもよかつたし、「スポーツする?」と聞かれたとき、「いいえ」だけでなく、B 「聞いてもよかつたのです。このように、当事者同士は一生懸命に話しているのに、関係がうまく流れない会話がときどきありますが、そこには、① 落とし穴があるのです。それは、このような会話には「無料の情報」、あるいは「おまけの情報」が欠けているということです。ア

つまり、質問という「支払い」に対して、答えという「商品」を渡すとすれば、会話の中ではきちんと支払いに見合った商品だけをいつも返していればよいというわけではないということです。イ 人間関係は数学や物理の「問一答ではありませんから、支払いと返しが等価になる必要はなく、そうなってしまうのは先ほどの黒人と高校生の会話のように味もそっけもないものになるでしょう。ウ

1 話のうまい人は、自分を相手に知らせることに躊躇ちゅうちよがないのはもちろんのこと、それに加えて無料でも情報を出し、おまけをつけ加えるのが上手です。つまり、要求された答えをするだけでなく、質問に関連したことや自分の関心のあることをつけ加えて、② 相手と共有できる領域を広げようとしているのが分かります。そして、そのような会話は、先ほどの黒人と高校生のような「私質問する係」、「あなた答える係」といった妙な役割分担にはならないでしょう。スムーズに進んでいる会話とは、意識するしないにかかわらず、この「③ おまけ」がほどよく加味されていて、その結果、双方が一つの役割に固定されず、自由に流れるものということができます。エ

2 このようにおまけの情報が加味されないまま役割分担が決まってしまう、身動きできない会話になる理由は、おそらくなんらかの思い込みがないからでしょう。たとえば、「余計なこととは言ってはならない」とか、「差し出がましいのはよくない」とか、「目上の人に答えるときは、簡単に」などの思い込みです。このような思い込みをなくし、情報を膨らまして、お互いにかかわりをもつ領域を広げる努力をしたいものです。

3 会話の中では、多くの質問や問いかけが使われます。先ほどの高校生と黒人との会話もほとんど質問と答えによって成り立っていました。特に初対面するとき、人は質問をたくさんしながらお互いに近づいていきます。そして、おまけの情報をくれない人にも質問をうまく使うと会話が弾むこともあります。

質問には「開かれた質問」と「閉じられた質問」があります。「開かれた質問」とは、質問された相手が、「はい」とか「いいえ」では答えられない質問、「はい」とか「いいえ」だけでは答えがすまない質問のことをいいます。「閉じられた質問」は逆に、「はい」と「いいえ」で答えがすんでしまうような質問とか、ほんの数語で返答ができる問いかけをいいます。C、「閉じられた質問」は、返事が簡単ですみ、内気な人、律儀な人は悪気がなくても「おまけ」をつけ加えないですませてしまうでしょう。

D、「デイズニールランドに行けば、一日を十分過ごせますか」と聞くと、「はい」で終わってしまうかもしれませんが、「デイズニールランドに行けばどれくらいことができますか」と聞くと、いろいろな答えが返ってくるでしょう。「仕事には満足していますか」と聞けば、「いいえ」で話は途切れるか、「それはどうですか」とさらに問い返して、その理由を聞くか、といった話の展開になっていきます。しかし、「仕事はどうですか」とか「最近の仕事を聞かせてください」と聞けば、仕事について相手の答えたいことが出てきます。

「開かれた質問」は、あることについてあまり限定しないで発する問いかけで、答える側はその質問の範囲で答えることを選択権が与えられているものです。「デイズニールランドに行けばどれくらいことができますか」という問いには、自分が経験したこと、しなかったことを含めて、知っているさまざまな情報を選んで伝えることができます。「仕事はどうですか」に対しても、満足、不満足、苦労話、成功話、などいろいろなことが話せます。つまり、「開かれた質問」は、答える人が話したいことを選択する余地があり、それだけ自由に話せることと、質問する側が思いもしなかった話が出てくる可能性も含んでいるので、E 役立ちます。

4 一方、「閉じられた質問」は、はっきり「はい」とか「いいえ」、「いつ」、「どこ」といったF 有効です。優れたインタビューは質問がうまいと言われていますが、質問はその目的に応じて適切に使い分けることが大切です。質問の仕方によっては、おまけの情報が引き出せるということでもあります。

問 一、A にあてはまる言葉を漢字二字で答え、四字熟語を完成させなさい。

問 二、B にあてはまる言葉を十五字程度で考えて答えなさい。

問 三、――線①「落とし穴」の意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、それと気付かずについ犯してしまう失敗のこと。

イ、気付いているのに、うまく避けることができない失敗のこと。

ウ、いつも気にしているのにもかかわらず、必ず犯してしまう失敗のこと。

エ、気付くべきなのに、全く気にせずにやり過している失敗のこと。

問 四、問題文には、次の一文が抜けています。この一文を入れるべき箇所を文章中のア～エから選び、記号で答えなさい。

いい換えれば、支払いはなくとも、ただで情報を渡してもよいし、支払いに見合ったものだけでなく、おまけをつけてもよいということです。

問 五、――線②「相手と共有できる領域」と同じ内容を別の表現で言い換えた部分を、――線②よりも後の文章中から十五字以内で探し、抜き出して答えなさい。

問 六、――線③「おまけ」とありますが、それはどのようなことですか。その説明が書かれている部分を文章中から二十字以内で探し、抜き出して答えなさい。

問 七、C・D にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、そのうえ

イ、しかし

ウ、たとえば

エ、したがって

問 八、E・F にあてはまる内容として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、情報が多く得られ、話を広げ、新たな視点や考えを引き出すのに

イ、必要な情報が得られ、話の流れを作り、新たな視点や考えをコントロールするのに

ウ、多くの人からの明確な情報が得られ、自分が意図する方向に結果を導きたいときに

エ、明確で端的な返事がほしいとき、ものごとの結果をはっきりさせたいときに

オ、単純で明快な返事を導くため、物事の結果がはっきりわかったときに

問 九、問題文全体を大きく二つの段落に分けた時、二段落目はどこから始まりますか。文章中の1～4から選び、記号で答えなさい。

問 十、問題文には論理的に間違いのある一文が含まれています。その一文の最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問 十一、文章の内容に合っているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

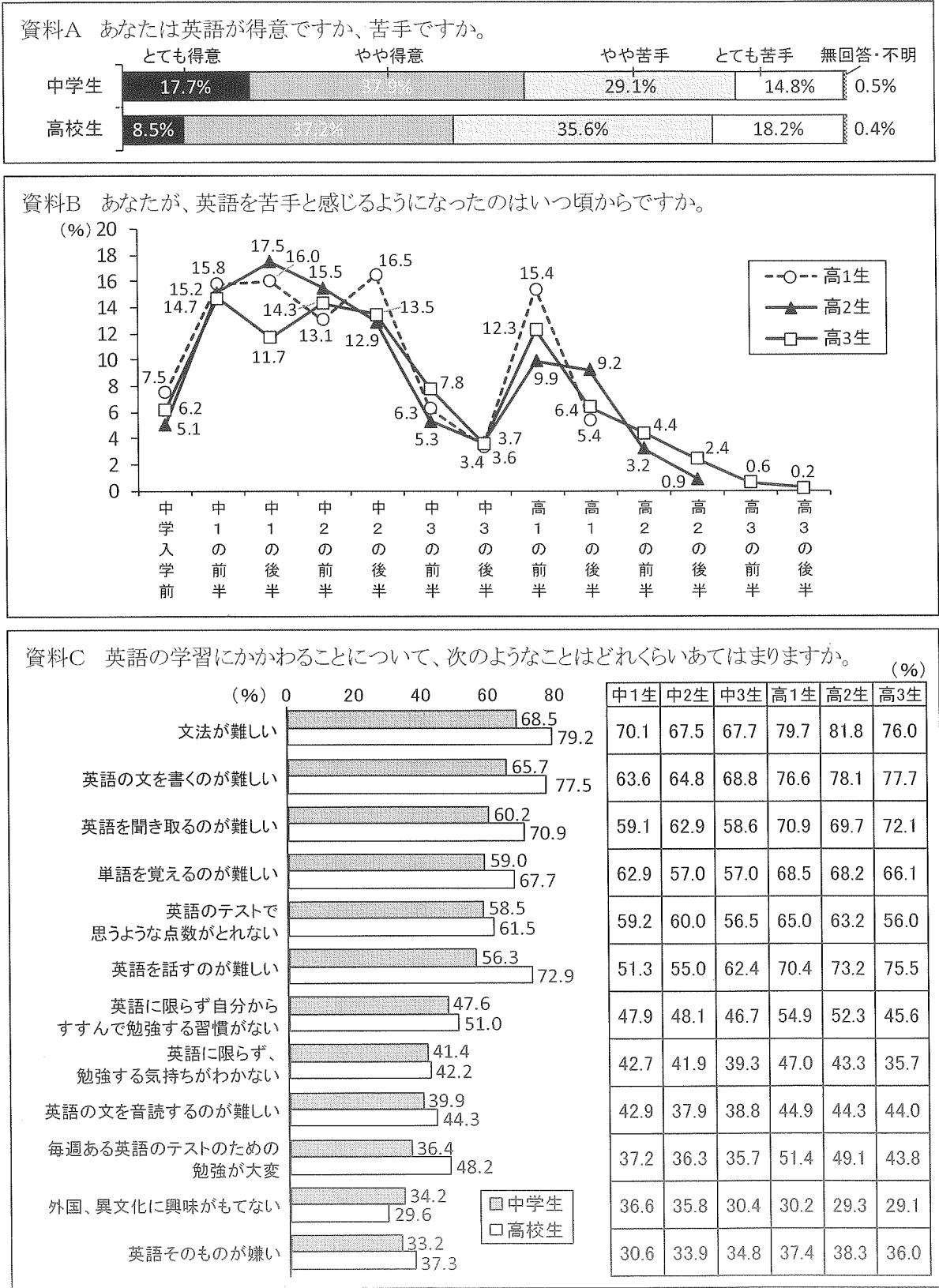
ア、会話をする時はどちらかがより多くの「おまけ」をつけて、会話がうまく流れるように努力をすべきである。

イ、話のうまい人は、自分の立場や考えを明確に伝え、会話の役割分担も相手が意識しないうちに自然に決めることができる。

ウ、「開かれた質問」とは、質問された側が、質問の範囲内で答えたいことを選んで返答できる質問のことである。

エ、「閉じられた質問」とは、相手に自由にしゃべらせないために簡潔な答えが返ってくるように考えられた質問のことである。

四 次の資料を見て、あとの問いに答えなさい。



(上記資料は、ベネッセ教育総合研究所「中高生の英語学習に関する実態調査 2014」より作成)

問 一、資料A・Bから読み取れることとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、中学生と高校生では、英語への苦手意識に大きな差はなく、高校一年生の前半で苦手と感じるようになる生徒が最も多い。
- イ、高校生よりも中学生のほうが英語に対する苦手意識を持つ生徒の割合が高く、中学三年生になってから苦手意識を持つ生徒は少ない。
- ウ、中学生の半数以上は、英語に苦手意識を持っており、高学年の生徒ほど、早い時期から英語への苦手意識が芽生えたと感じている。
- エ、高校生の半数以上は、英語に苦手意識を持っており、中学一年生の前半から英語が苦手になったと感じる生徒が多い。

問 二、資料Bから読み取れることとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、中学一年生の前半でも英語に苦手意識を持つ生徒もいるので、中学英語の学習スタート時点からしっかり勉強しなければならない。
- イ、英語が苦手になる時期は、「中学一年生の前半」から「中学二年生の後半」と「高校一年生の前半」という二つのピークがある。
- ウ、英語に苦手意識を持ちはじめるピークが、高校一年生の前半にあるので、英語学習の最重要ポイントとして考えなければいけない。
- エ、中学三年生で「英語を苦手と感じるようになった」生徒が少ないのは、英語に対する意識が明確になっている生徒が多いからである。

問 三、資料Cから読み取れることとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、中学生のほうが、外国や異文化に興味を持てないと感じている生徒が少なく、中高生とも英語は、書くことよりも話すことのほうが難しいと感じている。
- イ、中高間で最も意識の差がある項目は、「英語を書く」ことであり、高校二年生までは学年が上がるごとに「つまずき」を感じている生徒の割合が大きくなっている。
- ウ、中高生共通で「つまずき」を感じることが最も高い割合を占めているのは文法で、高校一、二年生では、ほぼ八割に達している。
- エ、英語そのものや勉強することに対する嫌悪感を持っている生徒は高校生よりも中学生の方が多い。

二

一

四

六

五

四

三

二

一

三

十一

十

九

八

七

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

二

5

4

3

2

1

一

10

9

8

7

6

評点

チェック

＜受験生はこれより上段には記入しないこと＞

平成28年度 共学部 特別選抜・特別進学コース共通
第1回 中学校入学試験問題〔国語〕解答用紙 (2月1日午前)

受験番号

氏名

6	1
ショウケイ	墓穴
7	2
テイショウ	入念
8	3
キケン	画期的
9	4
ケイトウ	時雨
10	5
ソ(まる)まる	災(い)い

二

問一

問二

1

2

3

4

問三

25

10

20

問四

A

B

C

問五

問六

問七

問八

問九

10

三

問一

問二

10

15

問三

問四

問五

10

15

問六

10

20

問七

C

D

問八

E

F

問九

問十

最初

最後

問十一

四

問一

問二

問三